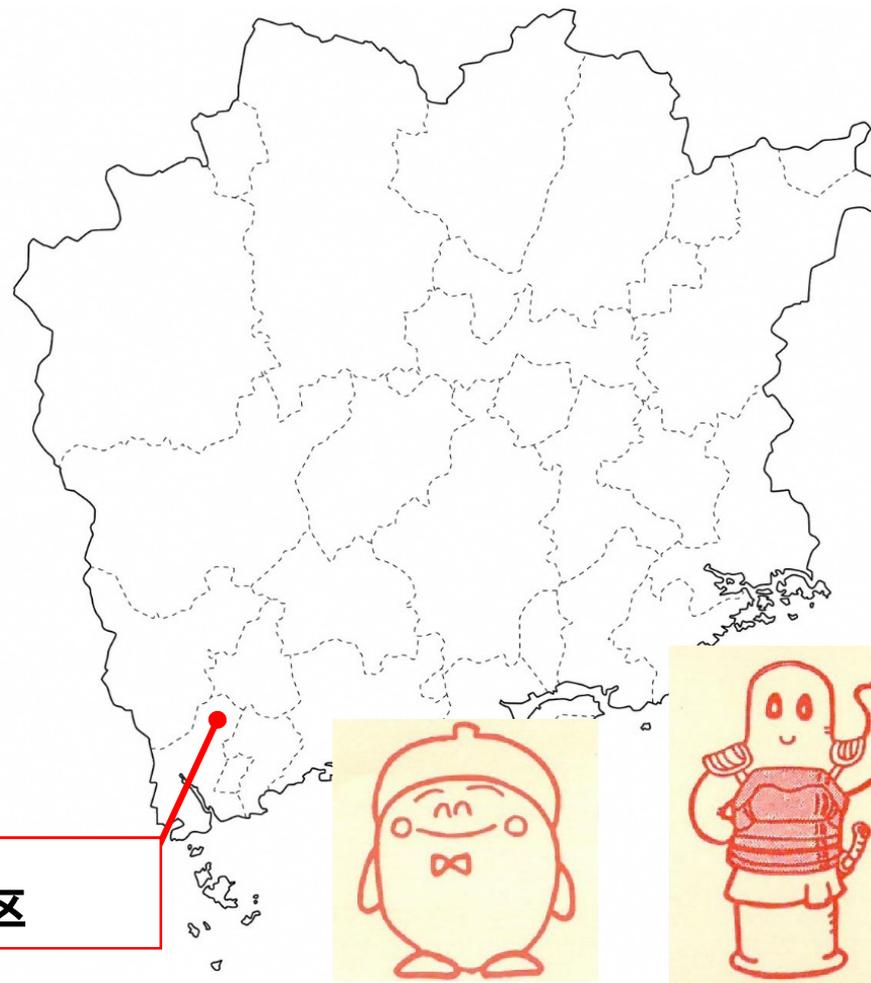
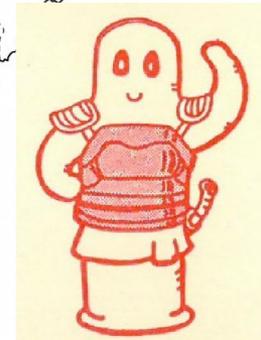
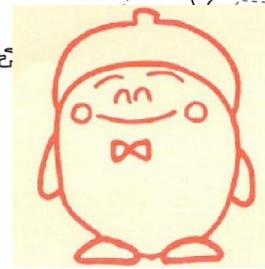


岡山県笠岡市新吉地区



にいよし
新吉地区



にいやまマスコットキャラクター
コクリくん コフンちゃん

☆岡山県南西部に位置する笠岡市の最北端地区
☆【参考】笠岡市人口 約47,500人
世帯数 約22,200世帯

きっかけ

人口減少・少子高齢化が深刻(高齢化率 37.2%)

(R元. 10. 1 岡山県毎月流動人口調査)

地元中学生のスピーチコンテスト、高校生の新聞への寄稿



地域のことを考えている、地域のために何かしたいと思っている若者はいる。その子たちの思いに応えたい！



岡山県公民館連合会事業「公民館・学生協働プロジェクト」に応募し、大学生と協働し地域課題の解決に取り組む。

新栄会（青壮年団）

- 頼りになるお兄さん・お父さんたち



活発な協力地域諸団体 (自治会・文化を楽しみ育てる会等)

縁組織 **新山地区** 新山地区自治会

「はと麦みそ」伝承の味を受け継ぐ



1. 目的
新山に40年前から製造販売されていた「はと麦みそ」が高齢化に伴い途絶えていました。「美味しかったあの味をもう一度・・・」「家族が食べる味増くらは無茶番の手作りがいいいな!」の声が集まり、「新山極上の味」の再現に挑戦しました。手前味噌ですが、初めて醸造した味噌を蔵から出した時は、美味しくて感動しました。予想以上に注文が多く、未熟でなかなか製造が間に合いませんが、細々と販売に向けて頑張っています。買さんも是非、一度ご賞味ください!
▶ 新山地区自治会と井笠鉄道記念館で販売中!
1kg:1,000円 500g:500円▶

井笠鉄道記念館まつり



1. 目的
地域の宝として、井笠鉄道記念館を全国に発信したいです。
2. 内容
本年度で5回目です。ミニSLの無料乗車をはじめ、アトラクション、各種パザー出店があります。3月最終日曜日の恒例行事となり、地区内だけでなく市内または近隣の市町村からの来場者が増えています。子ども達の笑顔が満開です。

新山食堂



1. 目的
自分の足で歩いて行ける食堂「地域のお茶の間」を目指しています。
2. 内容
本年度で6年目を迎えます。毎月1日と15日に1食300円で昼食を提供しています。血圧計の導入により、食べに来たついでに定期的に血圧測定もできるようになりました。
3. 苦労したことや良かったこと
地元で取れた食材や産物、おやつが届くようになりスタッフも力をもらっています。業者数は増えていますが、台所や食事をする場所が狭く、歩いて来るのが困難な方には近隣の友人が駆けたり、持ち帰り一紙に自宅まで集まって食べたりする事もあります。

にいやま草刈り隊「新栄会」



1. 目的
少子高齢化に伴い、家の周りと耕作放棄地の管理ができにくくなり、荒地が増えてきています。地区内の環境整備と防火のために休日返上で頑張っています。
2. 内容
耕作放棄地を中心に、公共の場所の草刈りも行い地区内の環境整備に努めています。依頼者から得た収益の中から、地区内行事(クリスマス会やそのめん盆など)でお菓子やかき氷をふるまい、子ども達は大満足!
3. 苦労したことや良かったこと
依頼が多くて順番を待つことがあります。そんな状況を見て、近隣で声を掛け合って助け合うことも出てきました。

協議会のPR

今ここに生きている!今ここで子育てをしている!ならば「楽しく生きていたい!」新山地区自治会では「新山まるごと一つの家族」を目標に、様々な活動を試みています。行政に頼るばかりでなく、地元で出来る事はやっていきたい・・・そして持続可能な楽しい活動を目指し、日々頑張っています!

平成29年度まちづくり活動報告会 活動展示パネル13

志縁団体 **にいやま「文化を楽しみ育てる会」**

令和元年度笠岡市 まちづくり活動報告会 展示パネル26
「笠臣・笠朝臣をとことん調べる」の調査・冊子の作成



1. 活動内容
会が創立20周年を迎えるにあたり記念事業として、長福寺裏山古墳群の主はだれなのか調査することとした。
2. 苦労したこと
まず、①過去の文献を集め精査する。②古文書(六国史中心)を拝見することとしたが、課題として過去の文献が多量で、中心にする文献をどうするか。家族が、家族のため6回そのものも手元になく困った。
3. 解決方法
検索する中で、笠岡市出身の民俗学者 鳥越重三郎氏等「古墳の古代王国」等と先進研究者 中尾英爾氏(典主神社元宮司)とのつながりがみつけた。また、備立図書館研究員の協力もいただいた。
4. 活動してよかったこと
・長福寺裏山古墳群の遺跡調査「笠臣・笠朝臣の祖ではないか」とする、勇気のある、しかも初めての試みを一歩進められたことはよかった。

冊子の形はA4中綴じ全頁カラー印刷



1. 活動内容
作成するにあたってのコンセプトを、中学生にも理解できる冊子とし、漢字には全部ルビをふらるとともに、読みが持てる中綴じ全頁カラーとした。
2. 苦労したこと
・古代の人名にルビをふらること。
・面倒な印刷をしかも廉価で引き受ける印刷所探し
3. 解決方法
ルビふらには、元法政大学教授に監修をお願いした。
・印刷については、活動の趣旨を理解してくださる印刷会社(福山市)が廉価で引き受けてくれることとなった。
4. 活動してよかったこと
全ページカラーでしかもルビ付きの本が完成し、地域の住民はもとより地元小・中学校の子供たちにもわかりやすい冊子が出来上がった。これをもとに中学生が紙芝居を作成するなどその数が広がった。市内小・中・高等学校・県内図書館・国会図書館にも寄贈した。

創立20周年記念事業の資金繰り

1. 活動内容
会員120人の会で記念誌の出版の資金をどうするかは大きな課題でした。
2. 苦労したこと
一つは、市(協会のまちづくり事業補助金)の補助をいだけたが不足分をどうするかは課題が残った。
3. 解決方法
地元で創立当初から活動に協力いただいている企業に主旨を説明し、賛同を得ることができ出資が決定した。
4. 活動してよかったこと
今まで地元企業に会の活動への関心を持っていただけたことの大変なことが実現できた。

地域をあげて学校を支える (にいやま文化を楽しみ育てる会)



学校との連携・協力

- 1. 総合学習への積極的な参加
- 2. 学校運営協議会への参加
- 3. 地域コーディネーターとして参加
- 4. 登下校の見守り
- 5. 諸活動へ相互参加
- 6. 授業参観、部活動訪問
- 7. 学校と公民館が隣接

1年目の取組

- ①地域の各種団体(20団体)との協議
【地域を知る・関係づくり】



- ②現状分析ワークショップ
【課題の洗い出し・取り組む方向性の共有】

将来、子どもたちが…

「このまちに帰ってきたい！」

「このまちが好き！」

「このまちが自慢だ！」



- ③具体的な取組の企画・運営

目指す子どもたちの姿と想い

自分の生まれ育ったまちに...

- ①興味・関心をもつ。
- ②自分の親しみのあるものがたくさんあることに気づく。
- ③大切な思いのつまった「自分のまち」を大切に思う心情を育む。
- ④まちのために何かしたいという気持ちをもち、社会の中で思いを実現する。

1年目の具体的な取組

講座名

「まちのお宝探検隊」



ねらい

- ・自分の地域に興味・関心をもつ。
- ・地域には、自分の親しみのあるものがたくさんあることに気づく。

内容

子どもたちの目線で、「自分の宝」(自分の親しみのある人、食べ物、建物、風景など)をさがす！



2年目に向けて

「憧れのサイクル」を循環させたい！

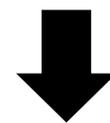
新栄会（青年層）



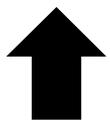
中学生



参加が少ない！



小学生

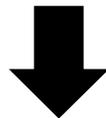


中学生の「やりたいこと」を
叶えよう！

中学生の思い

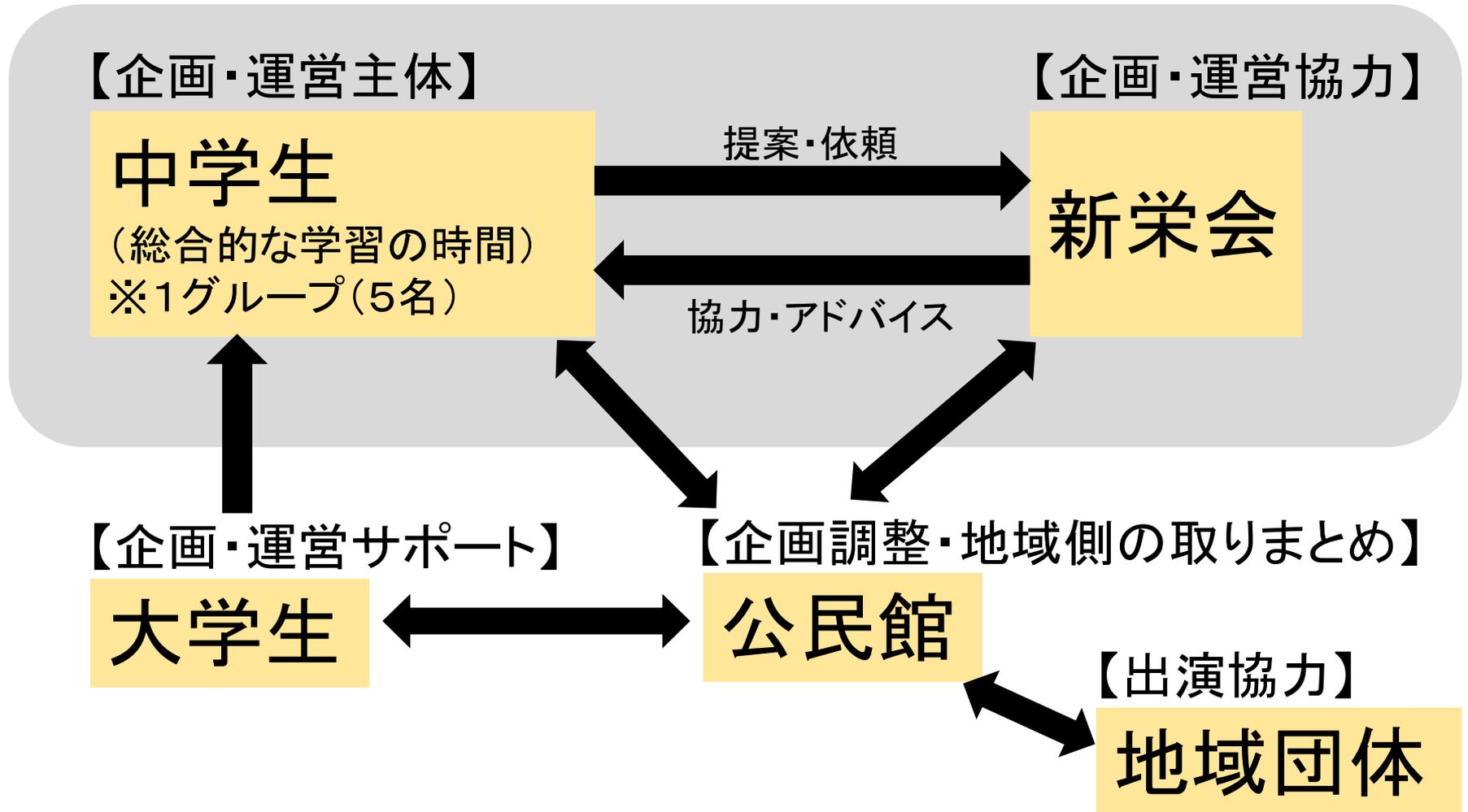
映画を作りたい！

- 映画の制作をとおして、地域の人々につながってもらいたい。
- 自分にとってのふるさとを振り返ってもらいたい。



「この新吉に大切な思い出が詰まっているなあ」
市外・県外にいても「いつかは新吉に帰りたい！」と
思えるきっかけにしたい！！

2年目の取組(映画作り)の連携体制図



映画作りの流れ

①地域の方にアンケート(地域での思い出)を取る



②アンケートを基に中学生がシナリオを考える



③映画出演者を募集する

④撮影の事前準備をする(協力:新栄会)



⑤映画を撮る



⑥編集する



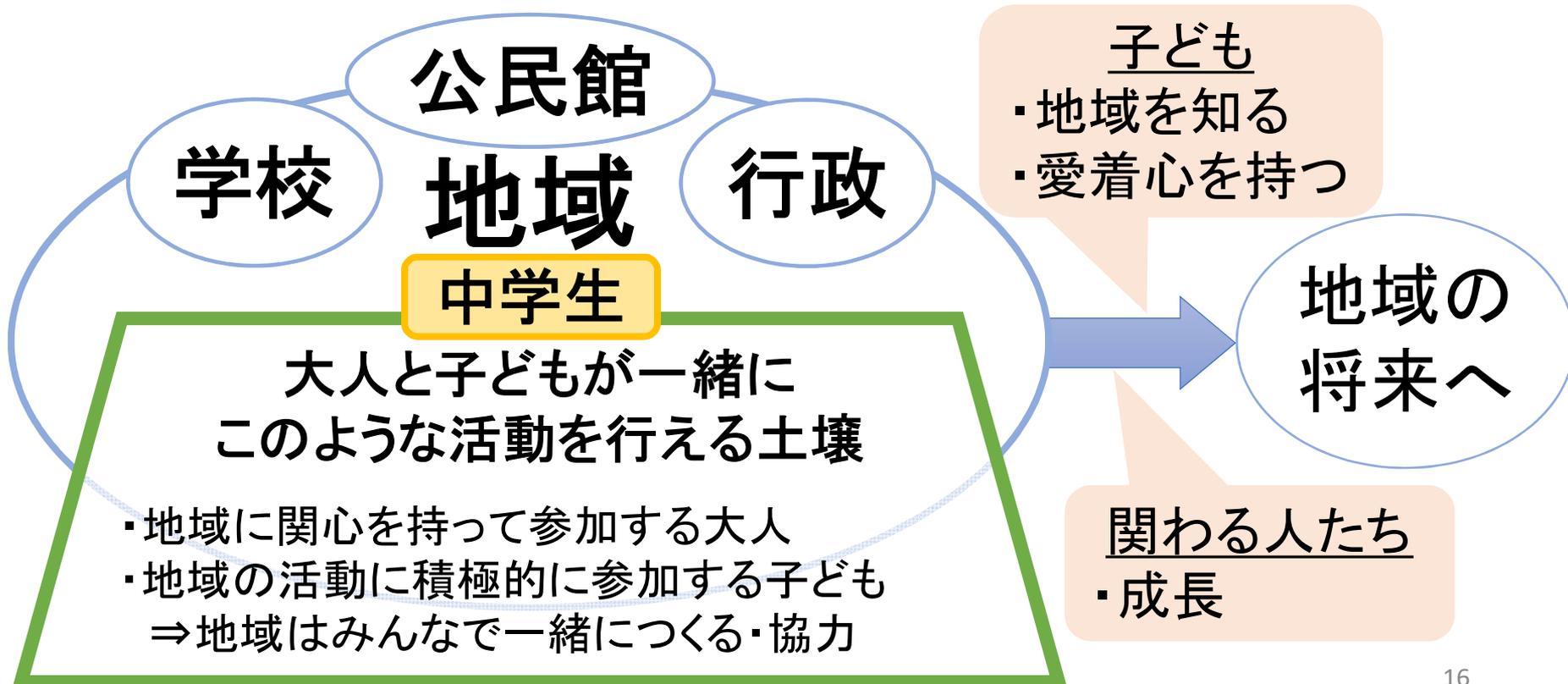
⑦公民館祭りで上映会を行う

映画作りの様子

こちらの動画をご覧ください。

映画作りをとおして

- ・地域のつながりの強さ
- ・地域住民の協力
- ・地域・学校・行政が一体となり、中学生のやりたいことを支える
- ・子どもたちを受け入れ一緒に支え育てていこうとする体制



保育所年長組・小1・2年生と 老人クラブでさつま芋栽培

苗植え

芋掘り

焼き芋大会



5年生と米作り体験

苗代作り

田植え

稲刈り

餅つき



2年生と野菜作り

3・4年生と干し柿づくり

3年生と七輪体験



体験学習後のお手紙



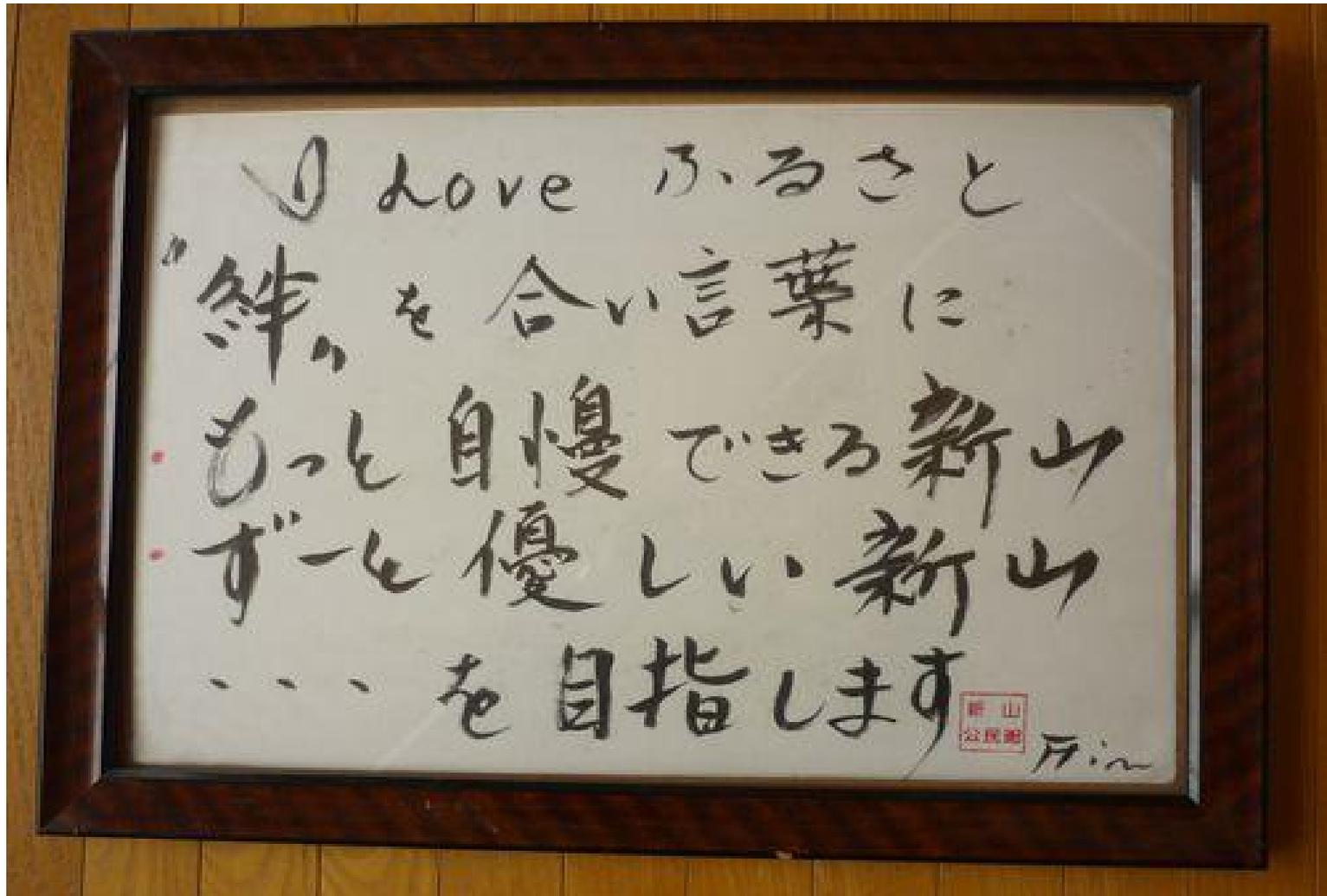
まとめにかえて

- ・子ども目線の取組の効果
- ・子どもと地域をつなげる
⇒公民館の役割
- ・継続していくことの重要性



「憧れのサイクル」の循環

新山公民館コンセプト



愛 ラブ ふるさと よくばりプロジェクト

愛 ラブ ふるさと “絆” で拓く



御清聴ありがとうございました。